

取組・活動名		「パラリンピック調査隊」					
校種・学年		小学校・第4学年			教科等	総合的な学習の時間	
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	8時間 【2学期】	
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等		
<b>プログラムのねらい</b>							
<p>○オリンピック・パラリンピック学習読本や映像教材等を活用してパラリンピックに関する課題を設定し、調べようとする。</p> <p>○自己の課題解決に必要な情報や資料を収集し、それらを使って調べるようにする。</p> <p>○学習したことを整理し、自分が選んだ方法でまとめることができるようにする。</p> <p>○パラリンピアン生き方を知り、自分の生き方をよりよいものにしていこうとする。</p>							
<b>児童・生徒の実態</b>							
○オリンピック・パラリンピックコーナーにある資料を見たり、オリンピック関連図書を読んだりして、競技や選手についての情報は少しもっている。							
<b>プログラムと既存の学習との関わり</b>							
○車いすバスケットボールやタグラグビー、ボッチャ体験など、オリンピック・パラリンピックに関するスポーツについて体験してきている。							
<b>指導計画・評価計画</b>							
<b>【指導計画】</b>							
第1次（1時）							
○映像教材を視聴し、パラリンピックに対する理解を深める。							
○パラリンピックについて興味をもったことを基に、自分の課題を選びグループを作る。							
第2次（2～4時）							
○自分の課題について、オリンピック・パラリンピック学習読本やオリンピック・パラリンピックコーナーの図書資料を活用したり、インターネットを活用したりするなどして調べる。							
第3次（5～8時）							
○グループごとに、一人一人が調べた内容を持ち寄り、まとめ方や発表方法についての計画を立て、発表用の資料等を作成する。							
○3年生に向けて、自分の課題について調べたことを発表する。							
<b>【評価計画】</b>							
○パラリンピックについて興味・関心をもつ。							
○自分の興味・関心にあった課題を選んでいる。							
○図書資料やインターネットを活用し、自分の課題を解決しようとしている。							
○調べたことを整理し、3年生に分かり易く伝えるよう、まとめ方や発表方法を工夫している。							

## 本時の学習指導

### (1) 本時の目標

- パラリンピックに関する自分が設定した課題について、相手に分かりやすく伝える。

### (2) 展開

- ① 本時の学習課題を確認する。
- ② グループに分かれて、お互いに発表し、聞き合う。
  - (ア) グループで発表の内容や分担を確かめる。
  - (イ) 他のグループの発表を聞き、アドバイスカードを書く。
    - 〈課題例〉パラリンピックの意義や歴史、競技種目、開会式・閉会式、日本人選手の活躍 等
- ③ どんなアドバイスを友達にもらったか、グループで確認し合う。
- ④ 本時の学習を振り返り、感想を書く。

### (3) 評価

- 自分の課題について調べたことを、相手に分かりやすく伝えている。

### (4) 備考

- 相手グループのよく分かったところやもっと知りたいことを3年生の立場で考え、発表後にアドバイスカードに書いて渡すように伝える。
- 3年生に伝える時には、どのようなことに気を付ければよいかを考えるように話す。
- アドバイスカードについて「よく分かったところ」、「もっと知りたいこと」のカードをそれぞれ分けて確認し、改善の材料とするように伝える。
- アドバイスカードを読んで改善しようと思ったことや、友達の発表を聞いて思ったことなどを具体的に書くようにする。

## 成果

- 学習を通してパラリンピックの4つの価値「勇気」「強い意志」「公平」「インスピレーション」について学び、それを体育の授業を始めとした学習に生かしていくことができた。
- オリンピックをただ見るだけのものでなく、その価値について深く知ることができた。

## おすすめポイント

- この先の社会に欠かせない国際的な感覚を養う素地を耕すことができる。
- 普段とは違う視点からの情操教育を行うことができる。

## “次代に語り継ぐ”ポイント

- グローバルな視点で物事を考える姿勢を中学年から浸透させることができる。